

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	福島県	事業実施主体	矢吹町	地域再生計画名	未来を拓く日本三大開拓地さわやかな田園のまちづくり計画
計画期間	平成28年度～平成31年度	評価責任者	矢吹町企画総務課長、都市整備課長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	町外からの転入者数増加	504人	H26	524人	H29	540人	550人	H31	○	汚水処理施設の整備等による住環境の向上等の効果により、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 2	地域拠点数増加	3箇所	H26	4箇所	H29	3箇所	5箇所	H31	×	矢吹町総合戦略に基づき、地域拠点数の増加へ推進しているものの、計画期間の中間点であることから効果の発現には至っておらず、現状では目標を若干下回る可能性がある。
	指標 3	全町クリーン作戦参加者数増加	5,000人	H26	5,250人	H29	5,000人	5,500人	H31	×	住民の自然環境への意識の向上は図られているものの、参加者数は例年どおりの数値を維持するものとなっており、現状では目標を若干下回る可能性がある。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
		計画	中間年度(H29)	最終実績見込み							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業（整備延長）	2.0km	1.2km	2.3km	計画初年度は交付決定が年度途中であったことから事業の遅れによる繰越による対応となったものの、2か年目以降の整備量は計画を上回る数値にて推移している。引き続き、合併処理浄化槽整備と連携して、効果的な整備促進を図る。						
	合併浄化槽整備事業（整備基数）	88基	31基	71基	公共下水道認可区域及び農業集落排水処理区域を除く地域を対象として、新規設置等にかかる整備をしている。引き続き、公共下水道整備と連携と連携して効果的な整備促進を継続し、計画基数の整備促進を図る。						
その他の事業	桃源郷の里づくり事業	水環境保全活動として公園等での花の苗植え、除草活動の実施			町民参加型の協働事業による公園等への植樹・植栽の実施による景観の向上のほか、継続的な除草活動等により自然環境保全が図られており、公園等における親子連れでのピクニックなど、利用者数の向上効果を確認している。今後も継続活動実施により維持・発展を図っていきたい。						
	環境保全型農業推進事業	有機特別栽培農業の推進として東京農業大学と共同で水稲のカブトエビ農法の研究推進有機特別栽培農業の推進			東京農業大学の協力のもと、町内2校の小学生児童の参加により、有機特別栽培による田植え・稲刈り等を実施した。引き続き環境保全型農業の推進に努めていきたい。						
	生活排水改善出前講座「スイセンジャー」	町内幼稚園保育園7園の園児等を対象とした、環境保全講座の上映			町内の幼稚園と保育園において開催している「下水戦隊スイセンジャー」と題したヒーローによる演劇を通じて、汚水処理の普及啓蒙活動をしており、引き続き住民の意識向上を図ってきたい。						
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	矢吹町上下水道経営審議会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	矢吹町のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、公共下水道及び合併浄化槽の一体的な整備することにより、全体整備コストの削減やより効果的な成果推進を図っており、目標としている町外からの転入者数増加については効果も概ね発現できていると考えている。一方、地域拠点数及び全町クリーン作戦参加者数増加については、目標値には及ばず、従前からの数値を維持している状況となっている。また、整備量の点においては、合併浄化槽整備事業は中間点における見込みでは下回る推移であるものの、公共下水道整備事業については、見込み以上の整備量推移となっていることから、引き続き効果的な整備を推進し、目標値の達成を図ってきたい。										
⑦今後の方針等	公共下水道事業における整備量の中間推移については円滑に進んでいるものの、数値目標値の状況については一部未達成となっている。今後においても、引き続き本地域再生計画に沿って、公共下水道及び合併浄化槽の効果的な整備を推進するとともに、桃源郷の里づくり事業や環境保全型農業推進事業等による住民意識の向上を図りながら、目標値の達成となるよう推進していきたく考えている。										